

課題 225 自動翻訳の精度向上のための「マルチモーダル情報の外部制御可能なモデリング」の研究開発  
 同時通訳によって異言語コミュニケーションを効率化するために、マルチモーダル情報の外部制御可能なモデリングを研究開発する

背景と課題	ビジネス・コミュニケーションに役立つ同時通訳技術において一文を越えた情報を利用する手法の創出が課題となっている。
研究開発の目的	一文を越えた情報（マルチモーダル情報や外部からの制御）をモデリングで利用する手法を確立する。
研究開発の内容	

**研究開発項目1 マルチモーダル情報理解技術の研究開発**

(1) **マルチモーダルコーパスの構築方法の研究開発** マルチモーダルコーパス、特に、動画及び対訳テキストからなる動画・対訳コーパスを構築する。例えば、遠隔の観光ガイドやプレゼンテーションを収録した動画が考えられるが、これらに拘ることなく、翻訳精度向上に有効な特性を明らかにすることを目指して検討の上、下記による有意な精度向上を検証するために必要な規模のコーパスを構築し実証的に研究を進める。

(2) **マルチモーダル情報を理解する手法に関する研究開発** 自動翻訳の精度向上に貢献するべく、マルチモーダル情報を理解するアルゴリズムを研究し、ソフトウェアとして実装し、上記の動画・対訳コーパスを用いて検証する。

**研究開発項目2 制御可能なテキスト生成技術の研究開発**

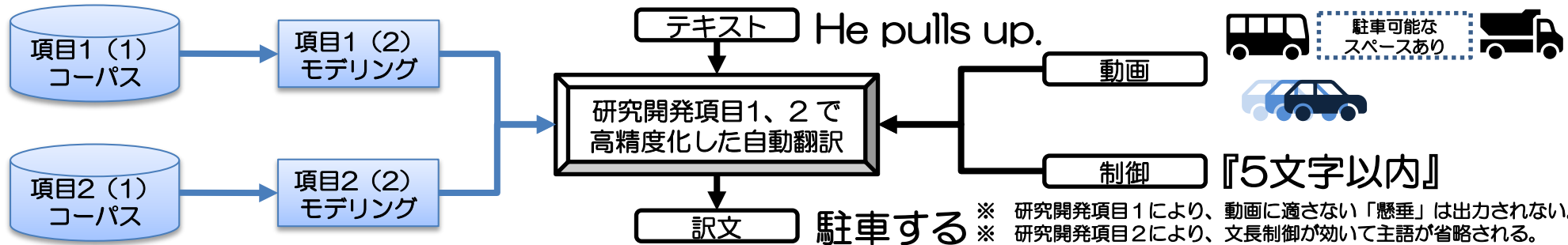
(1) **テキスト生成の制御に関するコーパス構築方法の研究開発**

テキスト生成コーパスは、例えば要約であれば記事と見出し・リード文等との対が考えられるが、これらに拘ることなく検討の上、下記による有意な精度向上を検証するために必要な規模のコーパスを構築し実証的に研究を進める。

(2) **テキスト生成において内容や様式等を制御する手法に関する研究開発**

外部から与えられた情報に従って生成することは従来は出来なかった。これに対し、本委託研究では、（文長等の）外部情報に応じてテキスト生成の出力を制御する基本手法を確立する。ソフトウェアとして実装し、テキスト生成コーパスを用いてテキスト生成精度向上につながることを検証する。

※ 研究開発項目1と2は連携すること。自動翻訳システムとパイプラインやマルチタスク的に連動可能であること。



※ 研究開発項目1により、動画に適さない「懸垂」は出力されない。  
 ※ 研究開発項目2により、文長制御が効いて主語が省略される。